

愛知総合工科高校・専攻科での特別講演

(財)日本スポット溶接協会は、スポット溶接などの抵抗溶接に関する人材教育、技術試験検定、技術支援、海外との技術交流などを推進するために新しく設立された愛知県に拠点がある協会です。

協会の事業推進のための啓蒙活動を開始し、まずは、拠点のある愛知県でPR活動を行っています。その一環として、1月13日(木)に、愛知県立愛知総合工科高校の専攻科学生を対象として、「抵抗スポット溶接の現状と将来展望」のテーマで、(財)日本スポット溶接協会理事の園家氏が特別講演を行いました(図)。啓蒙活動は、今後、東海地区、更には全国に広げていくことを考えています。

愛知総合工科高校・専攻科は、国家戦略特区により全国初の公設民営化として学校法人名城大学が管理・運営しており、愛知県では技術系高校の中心的な存在です。

講演概要は、以下の通りです。詳細は、資料(パワポ)を参照してください。

抵抗スポット溶接の基礎(歴史、原理、溶接部の特徴、溶接欠陥などの概要)、溶接装置、溶接現象、適用分野、抵抗スポット溶接技術の動向(ウエルドボンディングなど)、抵抗スポット溶接の将来技術(アルミ合金／鉄鋼異種金属接合、LSW など)



図 講演中の様子